

令和4年度 大船町内会 活動報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I. 令和4年度活動報告 = 『再生の年』を終えて=

大船町内会 会長
田子 祐司

今年度後半にはコロナのワクチン接種なども浸透し、だんだんと日常生活が戻ってきました。しかし、町内会の皆さんの「3密」に対する抵抗感がどの程度のものか判断が難しいこともあり、「各種団体連絡協議会」「敬老会」といった町内会館を利用するいくつかの会議・行事は中止しました。

一方、後述のように大半の行事はコロナに対応して少し内容を変えながらも実施し、今年度を『再生の年』にするという当初の計画はほぼ達成できました。

さらに、今年度は注目すべき成果が二点ありました。一点は「秋祭り」で社会福祉法人きしろ社会事業会(今年度賛助会員に加入)や鎌倉市環境部環境センター(今泉クリーンセンター)にご協力いただいたことです。二点目はきしろ、ふれあいの泉、大船地区社会福祉協議会などと協同し、65歳以上の方の「体力測定会」「スマホサロン」といった今までにない行事を開催しました。

これは今年度の活動計画で述べたように、大船町内会が今必要としている新たな「知恵」と「力」であり、今後は多くの団体・機関と連携しながら、より強固な共助の関係を築いていきたいと考えます。

ただし、このウインウインの関係を築くには町内会も自助努力しなくてはなりません。コロナの2年間でやや低下の感がある町内会活動へのモチベーションの回復、高齢化に伴う機動力低下への対策など大船町内会活性化に向けた課題は山積しています。

Ⅱ.各部の報告

1. 環境福祉部

(1) 環境衛生

活動・行事	時期	概要
①クリーンデー	偶数月 第一日曜日	4月は小雨のため、8月はコロナ感染拡大のため、各ブロック（班）の判断で、一部のブロック（班）のみ実施した。この2か月を除き、4回の平均参加人数は384人であった。
②ネットボックスの購入		買い替え2台、新規（ネットから変更）1台、計3台の購入助成を行なった。
③アルミ缶の回収	毎週土曜日	前年度下期15,390円、今年度上期32,770円の売り上げとなった。金額が大きく違うのは、前年度10円/kgにたいして、今年度20円/kgのため。
④3R勉強会 3R活動学習会	5月21・22日 2月18日	ブロック別班長会にて行った。 ごみ減量対策課から講師を招き学習会を行った。 戸別収集が検討されているということで、戸別収集への関心が高く、質問・意見が多くだされた。参加人数は役員を除き20人。
⑤公園愛護会活動		やとのまえこねこ公園は、クリーンデーの他、有志の方が随時実施。熊野神社子供の遊び場は、毎月第一土曜日の会館掃除の際実施。4月、3月を除く常任委員の平均参加人数は7人。
⑥資源物・ごみ収集 日カレンダー作成 /配布	11月～	今泉クリーンセンターの協力を得て、地区別に2種類作成し、全戸配布した。 また、町内会に加入していない、或いは会員だが未回覧のアパートにも、町内会(会員)が設置したクリーンステーション利用のルールを守るよう配布中である。

(2) 福利厚生

活動・行事	時期	概要
①敬老会	10月	お祝い会中止の為、お祝い品（鳩サブレー）進呈 令和3年申し込み470名 → 令和4年申し込み506名 今年度は、申込書を封緘できるようにしたこともあってか、申込者が大幅に増えた。
②出生お祝い	6月25日 11月26日	2回ともお祝い会は中止したため、町内会館にてお祝い金と記念品を手渡しし、懇談の形で行った。 合計24名の申し込みがあった。（令和3年18名）

③体力測定会	1月28日	初めての試みとして65歳以上対象で、1月28日、地域包括支援センターきしろ、地域包括支援センターふれあいの泉、共創未来大船薬局の協力を得て実施した。参加者20名。
④「敬老祝い金」進呈手続き	9月	大船地区社会福祉協議会より委託 今年、80歳・90歳はお祝い品。100歳はお祝い金となった。 80歳 34名 90歳 16名 100歳 2名 合計52名

2. 防災防犯部

(1) 防火防災

活動・行事	時期	概要
今年度も昨年同様コロナ対策下ではあるが、規模を縮小してでも活動を再開したいとの考えから、3年ぶりの「防火・防災訓練」を目指して2回の防災会議、3回の防災分科会を開催した。		
①前期防災会議	6月12日	初めての試みとして尾西食品(株)の災害用非常食セット、ごはんシリーズの試作・試食を実施し、防災担当班長・常任委員・防災委員・役員及び一般参加者など総計61名が参加した。試食の感想は好評で、後日17名が自宅保存食として購入した。
②第1回・第2回 防災分科会	9月10日	第1回:自主防災組織の班別(5班)討論会・防災備品の確認(防災倉庫ほか)
	10月29日	第2回:災害用非常食ハイゼックスの使用法・試食、ラップポントイレ取扱説明、防災備品の取扱説明・確認等(防災訓練実施要領確認)
③令和4年度防火防災訓練	11月20日	3年ぶりだが例年通り消化・被災者救助・給水・防災工具取扱・炊き出し訓練等実施。参加者68名。
④第3回防災分科会	12月10日	防火防災訓練の各班の総括討論・感想など。
⑤後期防災会議	1月14日	今年度の防災活動総括・災害時における生活再建の知識・防災備品の在り方等を討議した。また、大船消防署からの布担架等を使用しての行動訓練などは他ではあまり経験できないやりのあるものだった、との高評価を得た。

(2) 防犯

活動・行事	時期	概要
今年度はブロック別班長会などからの防犯灯新設・防犯カメラ設置の要望がなく、防犯活動はごく限られたものになってしまった。		
①防犯パトロール	毎月第3土曜日(原則)	今年度は新型コロナウイルス緊急事態宣言発令中のため4月・7月、雨天のため9月、計3回の中止を余儀なくされた。そのため9か月で合計103名がパトロールに参加した。

	12月16日	(3月6名、5月11名、6月10名、8月12名、10月15名、11月10名、12月23名、1月8名、2月8名) そのうち、10月5名、12月5名の計10名は「きしろ」利用者であった。 コロナ禍前の令和元年度に比べると、パトロール参加者が半減している。 大船警察署合同年末特別警戒パトロール:町内会有志が11名参加。
②防犯灯		今年度、防犯灯の新設要請はなし。 町内会エリアには現在約540灯が設置されている。従って各ブロックともほぼ満足している状況と考えられる。 防犯灯修理の鎌倉市への連絡は今年度から各ブロックの常任委員に依頼している。
③防犯カメラ		今年度の設置はなし。

3. 体育文化部

(1) 体育

活動・行事	時期	概要
① 夏休みラジオ体操	7月21日～25日	天気に恵まれ5日間とも実施できた。参加者は5日間合計で266人、うち子どもは138人であった。
② 市民運動会	10月8日、9日	コロナ感染予防のため小坂小学校、大船小学校ともに競技は半日で終了した。参加者は小坂小約200名、大船小約30名。

(2) 文化

活動・行事	時期	概要
① 親善秋祭り	9月17日	当初は8月7日(日)に盆踊り大会を予定していたが、コロナ感染者が急激に増加したため1週間前に延期を決定。 9月17日(土)に2時間半の「秋祭り」として開催、盆踊りは中止し、そのかわりお囃子と灯籠絵で祭りを演出。 また、アルコール飲料の販売は中止する一方、子ども向けの模擬店を増やし、総店舗数は10店となった。神社参道まで飲食スペースを広げ、鎌倉市環境部環境センター(今泉クリーンセンター)にごみの分別など会場清掃のご協力をいただき、3年ぶりのお祭りは無事終了した。
② 熊野神社・琴平宮宵宮・例大祭		9月18日(日)神事のみ執り行われた。

③ 年末年始行事	12月25日 12月30日 12月31日 ～1月1日	年末大掃除 正月飾り付け 熊野神社年始客お迎え
④ どんど焼き	1月15日	天候が心配されたが、無事に実施できた。焼き芋の他3年ぶりに団子を用意した。
⑤ 常楽寺文殊菩薩祭礼		中止

4.総務

活動・行事	時期	概要
①会議		期首・期末班長会:班長は委任状を提出し開催 期首・期末各種団体連絡協議会:中止
②会館整備	10月 2月	町内会館1階ホールの書棚を入れ替え 町内会館前公園入口のポールを改修した。
③ スマホサロン	2月18日	大船地区自治町内会連合会、大船地区社会福祉協議会、地域包括支援センターきしろ・ふれあいの泉の主催で初の試みとして開催。鎌倉女子大の学生を講師にマン・ツー・マンでスマホの機能とその使い方を教わった。参加者は9名。
④大船小学校まち美化活動	2月27日	大船地区自治町内会連合会、大船地区社会福祉協議会、地域包括支援センターきしろ・ふれあいの泉の主催。大船小学校から町内会館までごみを収集しながら6年生の約80名が来館した。二つのグループに分かれ、1つはスマホサロンの講師になって18名にスマホの使用方法などをレクチャーした。もう一つのグループは腐葉土を運び、約50鉢のパンジーを鉢植えた。
⑤まちづくり委員会		令和2年から4年の3年分の要望を整理し、69件の合併版を8月に作成した。そのうち28件を市に要望書として10月に3年ぶりに提出、12月に回答書を受け取り常任委員に配布した。
⑥広報委員会		ほほえみ42号、43号、44号を発行。 ホームページに毎月の回覧や会館の予約状況、催事の写真を掲載・更新し、2年間の休眠状態から復旧することができた。

Ⅲ. 町内会の世帯数・役員の構成

1. 世帯数 約 2030 世帯(令和 5 年 2 月現在)
2. 役員 総数 179 名
会長 1 副会長 5(常任委員・班長兼務 2) 常任委員 24(班長兼務 4)
班長 155

Ⅳ. 各種団体連絡協議会・賛助会員

〈各種団体連絡協議会 16 団体 順不同〉

鎌倉市消防第六分団	民生委員・児童委員
青少年指導員	青少年育成懇談会
鎌倉市スポーツ推進委員	小坂地区スポーツ振興会
廃棄物減量化等推進委員	地域防犯連絡員
防犯指導員	交通安全協会指導員
鎌倉市まち美化推進委員	J A さがみ農協大船支部
大船くまのこども会	大船壮年会
熊野神社責任委員	元会長・元副会長

〈賛助会員 16 企業・法人 順不同〉

株式会社ミスノ
一般財団法人日本燃焼機具検査協会
ロイヤル交通株式会社
株式会社鎌倉ファミリー
社会福祉法人清心会清心保育園
株式会社東日本住宅設備
社会医療法人財団互惠会大船中央病院
HITOWA ケアサービス株式会社(伊-ゼ 鎌倉)
東京電力株式会社藤沢支社(TEPCO パワークリット)
株式会社ジェイコム湘南・神奈川 J:COM 湘南・鎌倉局
学校法人北鎌倉学園おおぞら幼稚園
三菱電機株式会社情報技術総合研究所
学校法人大船いしい学園ひがし幼稚園
トヨタモビリティ神奈川 大船岩瀬店
社会福祉法人きしろ社会事業会
株式会社ニュートラル